

原発事故避難者 + 瀬戸大作氏 と一緒に考える

9.15 「避難者」を孤立させず 共に支える道を求めて

◎**発言**
福島原発事故避難者

◎**問題提起**
瀬戸大作氏
「避難の協同センター」事務局長

神奈川県生まれ。原発事故後、勤務先のパルシステム生協で、福島県会津若松市の仮設住宅におけるコミュニティ支援活動などに取り組む。以後、東京で脱原発を目指す市民運動などに関わりながら、避難者の声に耳を傾け続ける。

2016年7月、「避難の協同センター」を設立し、事務局長に就任。

◎「避難の協同センター」

<http://hinan-kyodo.org>

◎瀬戸大作Facebook

<https://www.facebook.com/nowarseto>

◎日時

2018年**9月15日(土)**

13:30開場 **14:00**開会

16:00終了予定 懇親会もあります

◎会場

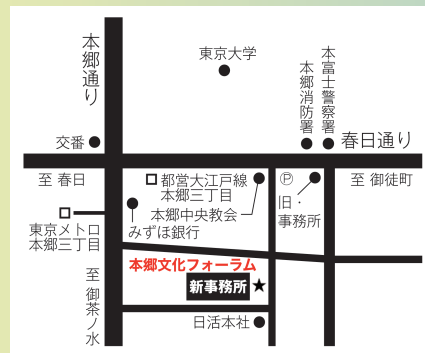
本郷文化フォーラム

東京都文京区本郷3-29-10飯島ビル1階
TEL.03-3818-6671

地下鉄丸の内線・大江戸線

「本郷三丁目」駅下車5分

2017.10に新事務所に移転しました



2011年3月、東京電力福島原発の爆発事故の後、住み慣れた街を離れ、見知らぬ土地での生活を余儀なくされた原発避難者たち。「自分や子どもを放射線被曝から守る」一心からの避難行動は、健康に生きるための人間としての当然の行為であり、原発事故の全体像を理解するためにも、彼らに対する支援は不可欠です。

しかしながら、借り上げ住宅の無償提供など自治体からの支援は次々に打ち切られ、避難者はいま厳しい状況に追い込まれています。

居住、生活、健康などにおいて避難者はいまどのような問題を抱えているのか。社会全体で原発事故避難者を支えるために、いま具体的にどういうサポートが必要なのか。関東に避難している方々の何人かをお招きし、「避難の協同センター」瀬戸大作事務局長と共に、現状と課題を語りあっていきます。

◎参加費 **500円**

◎主催 NPO法人ふくしま支援・人と文化ネットワーク
<http://www.support-fukushima.net/>
TEL:090-2171-4971

◎問い合わせ・予約

会場の都合がありますので、できるだけメールまたはFAXで予約を!

メール:p-c-netw311@nifty.com

FAX:045-392-8043